



メタセコイア

志津小ホームページ https://www.city.sakura.lg.jp/school/shizu_es/index.html

児童数 355名

学校教育目標 自ら学び 豊かに関わり合い たくましく生きる児童の育成

奇跡は起こる

校長

11月も終わりを迎え、来週からいよいよ12月、今年最後の月を迎えます。この時期になると、やはり月日が経つのは早いなと感じてしまいますが、皆様はいかがお感じでしょうか。

さて、この2025年もいろいろなことがありました。世の中に目を向けてみれば、日本で55年ぶりの大阪万博の開催や女性初の総理大臣の誕生、海外では、アメリカメジャーリーグでの大谷選手をはじめとする日本人選手が大活躍したドジャースのワールドシリーズ2連覇など、印象に残る出来事がたくさんありました。一方で、今年も酷暑が猛威を振るい、夏が長く秋が短いことを実感させられたり、全国各地でのクマの被害が過去最多を更新したりするなど、自然界の異変に頭を悩ませる日々が続きました。

その中で、佐倉市に在住在勤している一人として衝撃を受けたことが、佐倉市出身で日本国民の心に強く残る野球界のスーパースター長嶋茂雄さんのご逝去でした。長嶋茂雄さんのことは、ここで記すまでもありませんが、私は世代的に、選手としての長嶋さんというよりは、監督としての印象がとても強いです。中でも「常に前向きで明るい監督」のイメージが根付いています。

長嶋さんが残した名言はたくさんありますが、やはり、1996年の大逆転でリーグ優勝を勝ち取った時の「マークドラマ」は、とても影響を受けた言葉でした。この時は、首位広島東洋カープに11.5ゲーム差を付けられ、優勝は相当難しい状況でした。11.5ゲーム差というのは、相手が10連敗して、自分たちが10連勝しても追いつけない数字です。これは極端な例えでしたが、一つ一つ差を縮めていったとしても、自分たちの好調や相手の不調には波があるはずで、このゲーム差は大げさに言えば気の遠くなる数字なのです。

それでも、当時の長嶋監督は、低迷するチームに力を入れるために「劇的な優勝をするぞ」と選手たちを鼓舞していました。監督の気迫に選手たちは息を吹き返し、逆転して見事に優勝を成し遂げたのでした。今思い返しても、よくあの差を逆転できたなと感じます。私は、長嶋監督のこの言葉やその姿勢から、「可能性がある限り絶対諦めてはいけない」ことを学びました。

勉強でも運動でも習い事でも、うまくいかない時があります。そんな時は気持ちも落ちてしまい、やる気も失せてしまいますが、そこで投げ出しちゃうまくいかないままで。悪い方を考えるのではなく、もう一度自分の描いた目標を見つめ直すこと、「マークドラマ」はそんな気持ちにさせてくれる言葉ではないでしょうか。もちろん道のりは楽でも平坦でもないでしょうが、可能性が1%でもある限りベストを尽くすこと、これが目標や夢を叶えるための向き合い方だと私は思っています。

「奇跡」という言葉があります。偶然がもたらしてくれたり、まさかと思うようなことが起こったりすることで使われます。気持ちの良い言葉ですが、これはそれまでの努力が土台にあって初めて生まれるものと思います。奇跡は簡単に起こせるものではありません。ですが、しづっ子たちにはいろいろなことにチャレンジし、マークドラマのように、可能性がある限りは最後まで夢や目標を追い続けてほしいと願っています。

来週からの12月は、人権集会や音楽集会、書き初め練習会など、行事が盛りだくさんです。その中で、12月8日(月)に開催する人権集会では、講師に元中学校教師の腰塚勇人さんをお招きしてご講話をいただきます。

腰塚さんは、スキーで大事故を起こして全身まひになってしまい、一生寝たきり生活の宣告を受けてしまいました。しかし、わずか4か月後には現場に復帰し、まさに「奇跡の復活」を成し遂げたのです。そこには、医者や先生方が驚愕した、驚異のリハビリと精神力がありました。その腰塚さんが、命の授業としてご講話をくださいます。しづっ子たちにとって、更なる生きる勇気をいただきながら、命の大切さを学んでくれるものと思っています。保護者の皆様も、ご都合がつきましたら、ぜひご来校いただき、お子さんと一緒に人権集会にご参加ください。

いよいよ2025年を締めくくる12月が到来です。今年は、どんな年になりましたか。また、やり残したことはありませんか。この12月、2025年の総まとめをして、気持ちよく新しい年へと繋げていきましょう。12月24日(水)から冬休みが始まりますが、ご家族で有意義に過ごしながら、どうぞ良い年をお迎えください。12月もよろしくお願ひいたします。

表彰 おめでとうございます

○ひざし	詩の部	佳作	1年	さん		
	俳句の部	入選	2年	さん		
	作文の部	入選	4年	さん	4年	さん
		佳作	4年	さん	4年	さん
	短歌の部	入選	5年	さん		
○一部会	理科作品展	科学工夫工作の部	金賞	1年	さん	
印旛郡市	理科作品展	金賞		1年	さん	
千葉県	児童生徒科学作品展	科学工夫工作の部	入選	1年	さん	

人権集会

8日（月）に、人権集会を行います。今回は、元中学校体育教師の腰塚勇人さんを講師に迎え、「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる」と題し、児童一人ひとりが互いを尊重し、思いやりの心を育むことができるようになるための講話をしていただきます。当日は、保護者の皆様も参加することができますので、是非ご参加ください。参加をご希望の場合は、マチコミ11月19日配信のリンク先よりご登録をお願いいたします。

芸術鑑賞会

11月25日（火）の3～4校時に、芸術鑑賞会としてキャラメルマシーンの皆さんをお迎えし、体育館にてサイエンスマジックショーを披露していただきました。キャラメルマシーンの軽快なトークを交えたサイエンスショーに、子どもたちは大喜びでした。この芸術鑑賞会は、子どもたちに喜んでもらうため、毎年PTAの皆様が企画、実施をしてくださっています。今年も大盛り上がりでした。PTAの皆様、ありがとうございました。



音楽集会

12日（金）の3・4校時に、体育館で音楽集会を行います。保護者の皆様にも、是非ご参観いただきたいと思います。体育館の収容人数に限りがあるため、各学年の発表が終わるたびに入れ替えをお願いします。なお、きょうだい関係で参観時間に間に空く場合は、1階理科室を待機場所としますので、ご利用ください。各学年の発表曲を紹介します。是非とも子どもたちの歌声を聴きにいらしてください。

※番号は発表順

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ①4年生「まきばのこうし」「元気 勇気 ちから」 | ②2年生「小ぎつね」「よろこびの合図」 |
| ③5年生「赤いやねの家」「ひろい世界へ」 | ④1年生「きらきらぼし」「パワフルパワー」 |
| ⑤3年生「よろこびの歌」「夢をかなえてドラえもん」 | ⑥6年生「星笛」「地球星歌」 |
| 全体合唱「友だちになった日」 | |

お知らせ

PTAより、12月最後の給食に、デザート（ケーキ）を提供していただきます。毎年行っていただき、子どもたちはとても楽しみにしています。ありがとうございます。

佐倉市よりお知らせ

令和7年度佐倉市学校教育表彰について、佐倉市教育委員会より、芸術分野、理科分野、社会体育分野において、全国規模のコンクールで入賞した佐倉市在住の児童、またはそれに準ずる発表をした佐倉市在住の児童を対象とする表彰の案内がありました。該当する児童がいましたら、12月19日（金）までに教頭までお知らせください。手続きの詳細についてお知らせいたします。

※1. 実績の対象期間は令和7年1月1日～令和7年12月31日です。

※2. 12月19日以降に該当した場合は早めにご連絡ください。（最終締め切り1月7日正午まで）

冬休み 空直期間中の対応について

12月26日（金）を空直日とします。連絡が必要な場合、以下の担当にお願いします。

- (1) 空直日に学校に連絡が必要な場合 → 佐倉市教育委員会学務課 484-6219 ～
(受付9:00～17:00)
- (2) 上記の時間以外で、緊急性を要するもの → 佐倉市役所代表電話 484-1111 ～
その際、①学校名 ②学年と名前 ③電話番号 を必ず伝えてください。

「心の教育相談員」先生、「スクールカウンセラー」先生の出勤日について

【先生 12月の来校日と時間】

- ・2日（火）・9日（火）・16日（火）・23日（火） 8:00～15:45

【先生 12月、1月の来校日と時間】

- ・12月1日（月）・15日（月）・1月19日（月） 8:30～15:00

ご相談はお子様だけでなく、保護者の方も可能です。要予約：担任または教頭までご連絡ください。